

全国こども記者 交流会を終えて



持参したご当地のお菓子を食べながら、それぞれの街の良さを発表して交流するこども記者

長野県松本市で開かれた「全国こども記者交流会」で、宮城県大崎市鹿島台小5年の石川耀一朗さん(10)ら全国5社のこども記者7人は、自分の住む地域と比べながら、松本市内の街歩きで感じたことなどを発表し、交流しました。2日間の交流会を通して、7人のこども記者が感じたことを紹介します。

地元の互市思い出す

河北新報社 小学5年生 石川耀一朗さん



国宝の松本城は見た目は5階だけど、実は6階でした。隠れた階は石垣や地下ではなく、天守閣の中にある

と知って驚きました。松本城と国宝の旧開智学校を結ぶ通りを歩いて、昔から続く地元のお祭りの「互市」を思い出しました。看板を立て、たくさんの人に来てもらう工夫をしているところが、松本と似ていると思いました。

ずんだもち気に入る

信濃毎日新聞 小学6年生 小林 舵さん



全国から来たこども記者と、持ち寄った各地域のお菓子を紹介し合いました。食べたことがあるものもある

れば、初めて食べたものもありました。1番気に入ったのは宮城県のずんだもちです。もちの中にずんだが入っていました。が、本当はもちにずんだをからめるそうです。本場のずんだもちを食べに行きたいです。

街元気に本気の思い

信濃毎日新聞 小学5年生 村山 凜佳さん



こども記者それぞれが自分の住む街や県のいいところをアピールしました。みんなとても詳しく話して

いて、住んでいる街を元気にしたいという本気の思いに、とても驚きました。他の地域の良いところを知り、自分の地域でも生かせることが見つければ、日本全体がもっといい国になると思いました。

国宝の善光寺に興味

西日本新聞 小学4年生 平田倫太郎さん



交流会で、自分が住んでいる街や好きな食べ物を紹介しました。福岡県以外、行ったことがない場

所ばかりでした。1番興味を持った所は、本堂が国宝の善光寺です。写真を見て迫力がありました。自分のお薦めスポットである太宰府天満宮は国宝ではないので、少し悔しかったです。

活火山の多さに驚き

西日本新聞 小学5年生 淵上綾那さん



火山マイスターの方たちから火山の話聞きまし

たが、調べると九州には阿蘇、桜島、諏訪の瀬島などの火山があり、その多さに驚きました。火山はいつ噴火するか分からないので、自分の住む町のハザードマップで危険を知っておく必要があると思いました。

街歩きで発見楽しく

神戸新聞 小学6年生 上田 楓さん



街歩きは発見の連続でした。地元の名所にも行ってみようと思いました。例えば、姫路城です。外からし

か見たことがないので、今度はずっとじっくり見てみたい

昔の建物大事に守る

朝日学生新聞 小学5年生 森寛治朗さん



松本市は昔の建物を大事にしていると感じました。僕が住む千葉県浦安市も、古いものも大切に手入れ

し、未来につなげてほしいと思います。火山の学校で、火山を学びました。浦安市には火山はありませんが、水害が起きたら、水が溶岩と同じように低いところに流れ込んでいくと考えると、怖いと思いました。